【主管支所】先輩からのメッセージ

被害者援護・企画広報業務

新潟主管支所　チーフ

２０１８年　入構

－入構の決め手を教えてください。

　就活中に大学のキャリアセンターの紹介で、ナスバを知りました。働く乗り物全般が好きなので、それらに関わる仕事をしたいかつ、大学で運輸安全を学んでいたので、学びを活かしながら仕事したいと思っており、両立できるのではと考え応募しました。民間・警察・行政機関とは違った立場で、運送事業者や自動車事故被害者と関われることもナスバの魅力だと感じました。

－業務内容を教えてください。

2018年4月～2020年3月　新潟主管支所　適性診断・経理　担当
2020年4月～2023年3月　石川支所　適性診断・講習・経理　担当
2023年4月～2025年3月　富山支所　適性診断・講習・経理・被害者援護　担当
2025年4月～　新潟主管支所　被害者援護・企画広報　担当
被害者援護業務は、自動車事故による重度後遺障害者への支援業務を中心に、広報業務はナスバを知ってもらうために、イベントへの出店等を中心に行っています。

－職場の雰囲気をどのように感じますか。

　利益向上の為に孤軍奮闘というより、問題解決に向けて、ワンチームでやっていこうとする雰囲気です。上司・先輩・後輩共に話しやすく、仕事の話以外にも、明るい話が話題に上がりやすい職場環境だと思っています。

－どんな時にやりがいを感じますか。

　大雑把ですが、ナスバの業務の多くは困っている人に対して、「支える」・「寄り添える」ことができる仕事であると思っております。そのような人達に何かできた際に、やりがいを感じます。また、役所・民間企業以上に『ありがとう』と感謝されることが多いのも、ナスバで働く際の良いことでもあるし、やりがいであると思います。

－今後の目標を教えてください。

自分の目標
入構以来、様々な業務を担当してきたので、今後も色々な業務に関わっていき、困ったことがあったら、色んなところから頼られる職員へパワーアップすること。若手の時にお世話になった先輩方の様に後輩に慕われる先輩へ進化することです。

ナスバの組織目標
日本人口全員がナスバを知っている未来にするために、広報業務に取り組むことです。

－ナスバを目指す人に向けてメッセージをお願いします。

『自動車が好き』・『行政関連機関で働きたい』・『働きやすい職場』と考えて、ナスバを目指すことも大切な視点かと思います。ただ、ナスバに一番向いている人は、『目の前に困っている人がいるときに気になってほっとけない性分』を持っている人だと思います。また、ナスバには交通事故被害者等色んな困りごとを抱える人たちが訪れます。その人たちと真正面から向き合う意識も大切にしてほしい所です。

＜自己紹介＞

出身地：大阪府
所属地：新潟主管支所

基本、インドアなので自室で悠々自適に過ごすことが多いです。近くに興味がある所を見つけたらドライブに行くことも時々あります。
新潟・北陸勤務が長いので、その地ならではの、地酒・海産物・ラーメン・蕎麦等々ご当地グルメに舌鼓を打つのも楽しみの一つです。

【支所】先輩からのメッセージ

被害者援護業務

茨城支所　チーフ

２００８年　入構

－入構の決め手を教えてください。

　子供の頃から車に興味があり、自宅に届くJAFMateという冊子に掲載されている自動車アセスメントの結果を見ていた際に、情報提供元であるナスバを知りました。大きな自動車事故に遭った体験もあり、自動車事故を減らし 人や社会の役に立てる仕事がしたいと考え、入構を決めました。

－業務内容を教えてください。

　被害者援護業務に長く携わったため、このうちの２つの業務について紹介したいと思います。一つ目は介護料の支給です。これは、自動車事故が原因で重度の後遺障害を負われ、介護が必要となっている方に助成を行い、経済的な支援を行うものです。
　二つ目は、自動車事故により死亡、または重度の後遺障害が残った方のお子様に対する生活資金の無利子貸付です。それぞれ経済的な支援だけでなく、ご家庭を訪問し近況確認、情報提供を行います。また、イベントを企画し交流の場を設ける等精神的な支援も行っています。この他にも、重度後遺障害者専門の病院、相談窓口の設置・運営等の業務も行っています。

－職場の雰囲気をどのように感じますか。

課題に直面した時に、皆が一丸となってチームワークで支え合うことが良いところだと思います。

－どんな時にやりがいを感じますか。

　業務内容に紹介させていただいた被害者援護業務では、被害者やそのご家族の方から、感謝の言葉をいただくことも多く、やりがいを感じます。お一人お一人により良いサービスを提供できるようご家族に寄り添うことを心がけています。

－今後の目標を教えてください。

　これまで自動車の事故防止、被害者支援、アセスメント等様々な業務に携わってきましたが、 今後はこれまでの業務経験を活かし、お一人お一人により良いサービスを提供し努力を重ねたいと考えています。

－ナスバを目指す人に向けてメッセージをお願いします。

　ナスバは公益性・公共性の高い組織であり、日本で唯一の自動車事故対策の専門機関です。社会貢献を含め、民間企業では携われない業務ができるので、とてもやりがいがある組織だと思います。
　ナスバの業務に共感を持っていただける方と、一緒に仕事ができる日を楽しみにしています。

＜自己紹介＞

　美味しいラーメンに目がないので、暇がある時は食べ歩きを楽しんでいます。

【支所】先輩からのメッセージ

被害者援護業務

静岡支所　チーフ

２０２２年　入構

－入構の決め手を教えてください。

前職で路線バス運転士をしていました。運転業務を通して地域貢献をするのももちろんやりがいがあったのですが、「運転士経験を活かして、より広い視野から運輸事業の適正化や事故防止活動に関わりたい」と徐々に考えるようになりました。

自分自身、適性診断の受診や基礎講習の受講でナスバにお世話になっていたため入構後のイメージはつきやすく、「ナスバならやりたいことができそう！」と考えて転職を決めました。

－業務内容を教えてください。

入構後静岡支所に配属され、最初の2年間は主に安全指導業務(指導講習・適性診断業務)を行っていました。
3年目から主に被害者援護業務に携わり、現在に至ります。自動車事故によって重度後遺障害を負われた方への介護料支給の業務や精神的な支援、交通遺児等のご家庭へのレクリエーション提供(ナスバ交通遺児友の会の運営)等が主な業務です。合間に適性診断のカウンセリング業務や経理業務、広報業務等も行っています。

－職場の雰囲気をどのように感じますか。

様々な業務で様々な人と関わるため、「このような対応で納得してもらえたか」「相手が不快にならない接し方ができただろうか」と悩む場面も多いですが、その都度上司や先輩方に気軽に相談し、不安を解消することができています。色々な経験を持つ職員がいるため、先人に学ばせていただくことが大変多く感謝しています。
お互いの経験や状況を尊重し合いながら向上できる職場であると感じます。

－どんな時にやりがいを感じますか。

被害者援護業務ではおひとりおひとり違う障害・違う困りごとを抱えた方々と接します。「こんなふうに生活できたら良いんじゃないか」という自分自身の目線で関わるのではなく、「本人やご家族が自分らしく生活するために、ナスバが寄り添えるところはあるか」という相手の目線で関わるように心がけており、それができた時にやりがいを感じます。また友の会で子供たちの楽しそうな笑顔を見ると「楽しんでくれて嬉しいな～大変だったけど頑張って準備して良かったな～」と感じます。
他にも講習や講演の講師として話す際や、適性診断のカウンセリングで「相手にうまく伝わったな」と感じた時や、問い合わせに対して過不足なく回答できた時、外部資格や内部資格を取得しステップアップを実感できた時にやりがいと自信を感じます。

－今後の目標を教えてください。

組織的にはもっとナスバの知名度を上げて、被害者援護業務の対象となる方の取りこぼしがないようにしていきたいです。運送事業の関係者でもナスバの被害者援護業務まで知らない方が多く、実は私自身も被害者援護業務については入構後に知りました。急性期病院・回復期病院や介護施設への広報も続けていきたいです。
個人的には目の前のやることやれることをコツコツと、驕らず丁寧に積み上げていくこと、まだ取れていない資格の取得や未経験業務へのチャレンジを続けていき、「〇〇さんがいれば大丈夫」と周囲から信頼されるような職員になることが目標です。

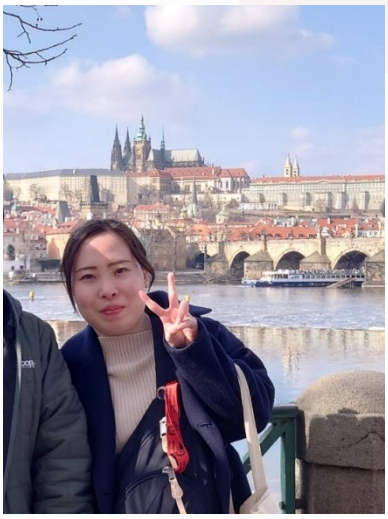
－ナスバを目指す人に向けてメッセージをお願いします。

「運送事業や福祉のことなんて全然わからないな……」
そんな方でも大丈夫です。入構後は資格取得や知識をつけるための研修や支援が手厚く用意されていますので、学び続けるガッツと「自分の経験やこの業務は、こんなことに活かせるし繋げられるな」という想像力、そして「自動車事故を無くしたい」という強い思いがあれば、きっとあなたもナスバでやりがいを見出すことができます。

仕事は自分が生活するためのお金を稼ぐ手段ですが、ナスバでの仕事は相手のためにひいては世の中を良くすることにも繋がります。公的機関の持つ公益性と民間企業の柔軟さ、両方の良いところを持った“独立行政法人”という場所で、私たちと一緒に「自動車事故ゼロの社会」を目指してくれるあなたを歓迎します。

＜自己紹介＞

大学卒業後、民間の路線バス会社で4年間働き、ナスバに転職。2026年現在でナスバ5年目になりました。
休日はマンガや本を読んだりドラマや動画を観てまったりしている時もあれば、旅好きな夫に連れられて遠出を楽しむこともあります。
右の写真は、2024年春に結婚休暇と有給休暇をいただいてヨーロッパへ新婚旅行に行った時の写真です。業務の状況によって調整はもちろん必要ですが、有休や時間休を取りやすい職場でありがたいです。



【主管支所】先輩からのメッセージ

被害者援護業務

高松主管支所　スタッフ

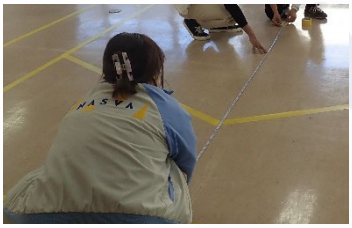
２０２４年　入構

－入構の決め手を教えてください。

私がナスバを知ったきっかけは、交通事故により脚を切断されている方とお話をした時です。
その方がふと呟いた「命があるだけ良かったけれど、事故に遭わなかったら今頃は普通に生活していたのかな」という言葉が私の中に強く残りました。その際に、近くに置かれていたナスバのパンフレット見つけたことが最初の出会いでした。
自動車事故を防ぎ、事故被害者を支え、自動車事故から守る、といった自動車事故ゼロの社会づくりに一体的に取り組んでいるナスバに心を打たれ、私も交通事故によって悲しむ方を少しでも減らしたい、支えたいという気持ちで入構を志望しました。

－業務内容を教えてください。

入構当初は、適性診断業務に携わっていましたが、現在は被害者援護業務に携わっています。
被害者援護業務では、重度後遺障害を負われた方々や、事故によって保護者が重度後遺障害を負ったもしくは亡くされた子どもさんへ経済的かつ精神的な支援を行っております。
交通事故により脳や脊髄を損傷されると完治することはほぼなく、様々な福祉用具やヘルパーさん等を必要とします。ご本人や家族には金銭的負担が大きくなってきます。養育費も同様、子どもさんが小さいほど自立するまでには金銭的な課題を多く抱えることが想像できます。ナスバはそのような介護に要する費用を支給したり、生活資金の無利子貸付を行っています。
また、精神的な支援としては、ご本人やご家族のご自宅等に伺い、生活の変化や困り事などがないか、お話を伺い情報提供を行っています。情報提供以外にも、交流会や集いといった同じような境遇の方同士や、子どもたちや家族の方が交流できるような機会を企画しています。
年に1回コンテスト（絵画・書道・写真）も開催しており、子どもたちの感受性や想像力を養う機会を提供しています。



－職場の雰囲気をどのように感じますか。

和気あいあいとしており、お互い助け合いながら働いています。被害者の方々のためにはどのような支援が利用できそうなのか、どのような方法がベストなのか、チームとして日々の情報交換を大切にしています。

－どんな時にやりがいを感じますか。

交通事故は突如起こり、ご本人やご家族が過ごしてきた今までの当たり前だった生活が激変するような結果となることがあります。また事故後の周囲の反応や何気ない言葉や対応から、さらに２次被害として心の傷を負うこともあるかもしれません。
一人一人生まれ育った環境や考え方、求めるものが違うため、その時々に合った対応が求められます。そのため、まずはお話を聴かせていただくことを大切にしています。そして直接お会いして、困っていることや介護の苦労や整理できない内容をお聞きして、少しでも何かの手助けになった時に、やりがいを感じます。
また、障害を負った後にご本人やご家族が何かに挑戦されたり、新しいことを始めたといったお話があった時には、いつも嬉しい気持ちにさせていただいています。

－今後の目標を教えてください。

話しやすい人で居続けたいと思っています。
ナスバの業務に限りませんが、組織に所属するとチームで進めていく必要があります。しかし、業務を進めていく中で一人で抱え込んでしまう時もあると思います。私も昔は「自分でなんとかしないと…」と負のスパイラルで悩むことがありました。
1人で解決できない時は誰かに話したことで、解決の糸口になったり、気持ちの整理に繋がることがありました（全部ではないですがっ笑）。同じ職場の中にそんな人がいるだけでも、何かの支えになると信じ、よりよい職場づくりにも貢献したいと考えています。

－ナスバを目指す人に向けてメッセージをお願いします。

ナスバは自動車事故対策の専門機関として、「支える」「防ぐ」「守る」といった3つの柱で構成されています。それ以外にも、ナスバを多くの方に知ってもらえるような企画を考えたり、職員の方々が働きやすいような環境づくりをするといったように、様々な業務に関わることができます。つまり、様々な経験ができるのが魅力の1つだと思います！
ナスバの業務は他の企業や場所では経験できないものだと私は思います。様々な就職活動の中で、「ナスバ」を候補の1つとして考えていただき、一緒に働くことができることを楽しみにしています。

＜自己紹介＞

✤休日の過ごし方✤

休日は、とにかく自分がしたいことを大切にしています！

１日家に籠ることもありますし、2日間ライブに参戦するために2泊3日で旅行にいくこともあります。空いた時間があれば映画を観るので、全シリーズ観始めるといつの間にか夜だった経験もあります。カフェの新規開拓をすることもあれば、お気に入りのカフェに行ってまったりと過ごしたり。
あと、気になっていた家の掃除や洗濯を1度に終わらせて、達成感を感じています！

【支所】先輩からのメッセージ

安全指導業務

旭川支所　チーフ

２０１２年　入構

－入構の決め手を教えてください。

　転職活動をしていた当時、古くからの友人が「就労支援B型事業所」を立ち上げ、関わりを持つうちに福祉に興味を持ち、調べている時に出会ったのがナスバでした。
　私自身も日々自動車を運転している中で、事故により後天的に障がいを負う可能性があること、それを支える制度があること、自動車事故防止に向けて様々な活動をしていることを知り魅力を感じ入構を決めました。

－業務内容を教えてください。

　現在、 旭川支所において、安全指導業務に従事しています。運輸事業に係る法令の基に、運行の安全確保に関する業務を自動車運送事業者に代わって行う運行管理者等に対する指導講習業務、運転をする時に顕れる個々の特性を、ＰＣを使用した診断や、結果から事故防止・再発防止に向けて一緒に考える適性診断業務、ご依頼のあった事業者の安全大会等に出向き、事故防止のための手法をお伝えする講師派遣業務など、多岐に渡ります。

－職場の雰囲気をどのように感じますか。

　ナスバには幅広い業務があり、様々な知見を持った職員が揃っています 。一番の魅力は、相手の話に耳を傾ける「傾聴の文化」が根付いていることです 。得意・不得意に関わらず意見を出し合い、お互いを支え合う体制があります 。仕事の話はもちろん、趣味の話まで垣根なくコミュニケーションが取れる温かい職場です 。

－どんな時にやりがいを感じますか。

　運行管理者向けの講習や適性診断、さらには講師派遣など、様々な立場の方と関わる中で「あの時のあの話がきっかけで、社内の安全意識に変化があった」という感謝の言葉をいただくことがあります。
　個々のドライバーの意識改革だけでなく、組織全体の安全文化を育むお手伝いがまた少しできるようになったと感じた時に、成長と大きな社会的意義を感じています。「支える・防ぐ・守る」という使命を、体現できていると実感する瞬間にやりがいを感じます。

－今後の目標を教えてください。

今後の目標は、事故防止に関わる業務を、日々の業務の中でより高いレベルで体現していくことです。 日々の適性診断や指導講習でお会いする方々は、社会のインフラを支える重要な役割を担っています。そうした方々に寄り添い、共に安全運転への方策を考えるパートナーとして、より信頼される存在になりたいと考えています。

また、転職のきっかけとなった「福祉への興味」を原点に、事故防止とともに、万が一事故に遭われた方々への援護業務についても理解を深め、多角的な視点から「安全な交通社会」を支えられる職員を目指しています。

－ナスバを目指す人に向けてメッセージをお願いします。

交通事故は、ある日突然、誰の身にも起こり得る社会課題です。ナスバは、その「予防」から「被害者支援」までを一貫して担う、唯一無二で責任ある組織です。 私がそうだったように、最初から専門知識を持っている必要はありません。大切なのはドライバーの方や、被害に遭われた方の想いにどれだけ寄り添えるかという「心」の部分です。日々の業務を通じて、自分の言葉や行動が誰かの安全を守り、誰かの支えになっていると実感できる瞬間に、大きな喜びがあります。

社会に貢献したいという想いを持っている方、ぜひ一緒に頑張りましょう。

＜自己紹介＞

【主な経歴】
北海道生まれで、一時関東に住んでいましたが、採用後は札幌主管支所に配属。 現在の旭川支所で北海道内４支所コンプリートとなりました。
【休日の過ごし方・趣味】
異動で各地を巡る生活に欠かせないのが、音楽・楽器・お酒（強くはない）。
初めての場所でも一緒に音を鳴らせば会話になる。打ち上げで一緒に飲めば、その地域のことも色々と教えてくれて年齢関係なく友達になったりする。人生になくてはならない趣味のひとつです。

【主管支所】先輩からのメッセージ

安全指導業務

大阪主管支所　チーフ
２０１４年　入構

－入構の決め手を教えてください。

　大学の授業で実車を用いた交通安全の研修合宿を受講し、レポート作成のために自動車事故について調べている時、ナスバの存在を知りました。様々な分野の安全マネジメントに関して学ぶ学部を専攻していたので、学んだ内容を活かせるのではないかと考えたことが入構の決め手です。

－業務内容を教えてください。

　現在は安全マネジメントに関するセミナーの講師及びバス、タクシー、トラックの事業者にお伺いして、事故防止の研修を実施しています。事業者からは様々な依頼がありますが、ドライバーの安全意識を高めるために事故の悲惨さを再認識させるような研修内容を依頼いただくこともあります。被害者援護業務を行っていて、自動車事故の悲惨さを知っているナスバにしかできないような研修内容も実施できるのが、ナスバの強みのひとつです。

－職場の雰囲気をどのように感じますか。

　分からないことがあった時には、先輩等に相談しながら業務を進めることができるので、働きやすい職場であると感じています。ナスバでは適性診断業務等に必要な産業カウンセラーの資格を取得するために、産業カウンセラーの講座を受講します。その講座では、相手の話を積極的に聴くという“傾聴”のスキルを学ぶことになります。ナスバ職員はしっかりと話を聴く姿勢が基本的に身についているので、悩み事なども真摯に聴いてもらえます。

－どんな時にやりがいを感じますか。

　ナスバは事故防止と被害者支援を一体的に行う唯一の機関です。被害者援護業務を実施しているからこそ、自動車事故被害の悲惨さを再認識する機会は多いです。その悲惨な事故を防ぐために、安全指導業務で事故防止に努めていると考えると安全指導業務にも熱が入ります。
　また、被害者援護業務では「友の会」という、事故によって保護者を失った子どもたちや家族の交流の場を設け、 楽しい思い出作りが出来るようなレクリエーション活動を実施しています。職員は旅行先や行程を企画するのですが、会員の方々に喜んでもらえるとやりがいを感じます。関西であれば、ＵＳＪに行くこともありました。

－今後の目標を教えてください。

　ナスバは「めざすのは、自動車事故ゼロの社会。」というタグラインを掲げて、自動車事故をゼロにするという理想に向けて、日々業務を実施しています。被害者援護業務で自動車事故被害者と関わる機会が多くあり、様々な意見を伺うのですが、被害者の方々から「悲惨な交通事故がこれ以上起きてほしくない」という思いを伺うことも多いです。被害者の思いを汲んで、「自動車事故ゼロの社会。」の実現に向けて、少しでも事故防止に貢献したいと考えています。

－ナスバを目指す人に向けてメッセージをお願いします。

　ナスバは全国組織ですので、様々な勤務地で仕事をすることになり、多くの方と出会うことができます。また、多様な環境で色々な業務を経験することもできます。自動車事故防止と被害者援護の両方を行う組織はナスバのみです。ナスバの業務は社会貢献度が高い業務であるため、やりがいを感じやすいと思います。「自動車事故ゼロの社会。」の実現に向けて、一緒に仕事をしてみませんか。就職先の一つとして考えていただければ幸いです。

＜自己紹介＞

　美味しいグルメ・カフェを巡るのが趣味で、普段の休日は近場の大阪、京都、兵庫のお店を巡ったり、観光したりしています。夏季休暇等まとまった休みが取れた時には旅行に行き、観光スポットやご当地グルメ巡りを楽しんでいます。比較的休暇が取得しやすいのも、ナスバの魅力だと思います。

【支所】先輩からのメッセージ

安全指導業務

鹿児島支所　チーフ

２０１１年　入構

－入構の決め手を教えてください。

正直なところ、元々はナスバが第一志望ではなく、ナスバの存在自体も知りませんでした。大学時代は地元の県庁を志望しており、無謀にも県庁一本で採用試験を受けました。結果は、不合格となりましたが諦めきれず就職浪人をしました。ところが、２回目もダメで・・・これ以上の就職浪人はマズイと思い、官民問わず就職活動を始めたところナスバを知り採用試験を受けました。また、これもご縁かもしれませんが、最初に内定をいただいたのがナスバでした。

当時は車の運転は好きな方でしたが、まずは、“とにかく、どこかに就職しなくては！”という想いでナスバへの入構を決めたため、あまり良い動機ではありませんでした（汗）。

－業務内容を教えてください。

いざ、ナスバに入構したら、最初は「安全指導業務」を担当しました。主に、運行管理者（緑ナンバーのバス・タクシー・トラックといった自動車運送事業者様で選任されているドライバーの管理・指導等を主に行う役職）の方々を対象とした講習会に関する業務を担当しました。１年目は会場での受付や名簿の整理等の事務作業がメインでしたが、年数が経つにつれて、社内研修等を受講した後に各種講習会や運輸安全マネジメント認定セミナー、外部の事業者様で開催される事故防止研修会等の講師も担当するようになりました。

※自動車アセスメント広報イベント時の写真です

－職場の雰囲気をどのように感じますか。

職場の雰囲気はとても良いと感じています。私自身もこれまで色々な失敗をしたり、業務の進め方が分からず「どうしよう！？」と悩んだこともありますが、そのときに相談に乗ってくれたり、今後のためになるアドバイスや助言をしてくれる上司・先輩・同僚の方々がたくさんいました。私自身、何度も周りの方々に助けられました。

また、年代が近い職員の方や後輩の子も多く、プライベートで飲みに行ったり遊びに行ったりすることもありました。

ナスバでは人に恵まれているなと思うことが多く、ナスバに入って良かったと思う理由の一つになっています。

－どんな時にやりがいを感じますか。

特に、自動車運送事業者様等が社内で開催する事故防止研修会の講師を担当し、講義後に「とても分かりやすかった。」と言っていただいたり、研修後のアンケートで良い意見を拝見したときは“頑張って良かったな”と感じます。褒められると伸びるタイプなので、「ありがとう」や「分かりやすかった」等と言ってもらえるとやりがいを感じます（笑）。

他にも、運行管理者等基礎講習や貸切バス事業者安全性評価認定制度に係る現地訪問審査時に相手方から質問があった際に、ナスバの法令集（自動車運送事業関係の関係法令がまとめられたテキスト）等を使用して関係法令の条文についてお伝えし、「なるほど、分かりました（理解できました）。」と言っていただいたときは、“勉強したことが相手に伝わって良かったな”とやりがいを感じます。

－今後の目標を教えてください。

　ありがたいことに２０２２年度から３年間、九州運輸局に出向することができました。運輸局では、法令違反等の疑いがある自動車運送事業者に対する保安監査の実施や行政処分等の手続き、他にも大規模自動車運送事業者様に対する運輸安全マネジメント評価（事業者様の輸送の安全性を確認し、必要に応じて助言等を行う制度）の実施といった貴重な経験をさせていただき、自動車運送事業者様をナスバにいるときとは違う角度から見ることができました。
　今後は、この経験をナスバの「安全指導業務」に活かし、自動車運送事業者様の継続的な**輸送の安全性の向上**に貢献できる職員になりたいと考えています。

－ナスバを目指す人に向けてメッセージをお願いします。

　ここまでご覧いただきありがとうございます。冒頭で記載したように大学生のときは特に大きな志もなくナスバに入構しました。しかし、ナスバでの業務や運輸局への出向経験を通じて、「自動車事故を防ぐ」ための手法を学んで講師として壇上に立ったり、運輸行政の仕組みを学んだり等、貴重な経験や勉強をさせていただき現在に至ります。
　もしかしたら、ナスバのHPを見てもナスバの業務がピンとこない方もおられるかもしれません。私もそうでした。でも、それでも構わないと思います。ナスバは研修制度も充実していますし、出向して色々な経験を積めるチャンスもあります。また、快く業務の進め方を教えてくれたりアドバイス等をくれる職員の方々がたくさんいます。入構してからでも大丈夫です。きっと、ナスバの業務をより深く知り、ナスバの業務をこなせるようになります。
　少しでも興味を持っていただけたら幸いです。お会いできることを楽しみにしています。

＜自己紹介＞

１９８８年（昭和６３年）生まれ
２０１１年（平成２３年）１０月　福岡主管支所 入構
　その後、新潟主管支所や２回目の福岡主管支所配属時に計４年間「被害者援護業務」も担当しました。

　出身地は石川県金沢市ですが、妻の地元である福岡県に自宅を構えました。
　子どもが一人おり、娘が小学校３年生になりました。良いところも悪いところも自分に似てきたなと思いますが（笑）、明るくて・優しくて・可愛い自慢の娘です！
　休日は子どもと一緒に遊ぶことでリフレッシュしています。

【主管支所】先輩からのメッセージ

総務・経理業務

仙台主管支所　スタッフ

２０２４年　入構

－入構の決め手を教えてください。

　ナスバを知ったきっかけは、大学の就職担当の職員さんからの紹介でした。“陰ながら人や社会を支えたい”という軸のもと就職活動を行っていた私は、自動車事故の被害に遭われた方への支援と自動車事故の防止という両面から社会を支える、社会的意義の高い業務に携わることで社会に貢献したいと感じ、志望いたしました。
　さらに、説明会や面接で対応してくださった職員の方から感じた人柄やナスバの雰囲気に惹かれ、一緒に働きたいと思えたことが大きな決め手となり、入構を決めました。

－業務内容を教えてください。

　適性診断業務や指導講習業務で発生する収入や会場を借りた際や物品を購入した際にかかる支出、職員が出張した際にかかる旅費などの伝票作成を行っております。また、適性診断や指導講習の受付での現金収受や電話対応も行っております。
　さらに、広報業務や自動車アセスメント業務、東北管内の採用活動にも携わっています。広報イベントの出展や企業説明会への参加を通して、ナスバを知ってもらい少しでも興味をもってもらえるような工夫をしながら取り組んでいます。

－職場の雰囲気をどのように感じますか。

　穏やかで温かい雰囲気だと感じており、困っていると皆さん声をかけてくださり、とても助けられながら仕事をしています。
　わからないことを質問するときにも優しく教えていただいています。また、皆さん気さくに話しかけてくださるので、楽しく仕事ができています。経験豊富な先輩職員の皆さんのおかげで安心して仕事に取り組める環境だと感じています。

－どんな時にやりがいを感じますか。

　総務経理業務では主管支所の他部署職員や、各支所と本部との橋渡し役として支所職員や本部職員など、機構内の方とのかかわりが多くなりますが、一緒に働く職員の方から感謝の言葉をいただけたときにやりがいを感じます。
　また、収入金や職員の給与などお金を扱うため、責任感をもって取り組めることもやりがいのひとつだと感じています。広報や採用活動では、ナスバのブースへ興味をもって足を運んでくれたときや、企業説明会後、職場見学の希望や選考を受けることにつながったときにはとても嬉しく、やりがいを感じます。

－今後の目標を教えてください。

　安全指導業務や被害者支援業務といった他の業務に携わり、業務の幅を広げていくことが目標です。私は現在入構して2年目で、まだまだわからないことが多くあります。総務経理業務で身につけたことも踏まえながら、産業カウンセラーや運行管理者の資格を活かし、専門的な知識を身につけていきたいと思っています。
　さらに、テレビやラジオ、SNSなど様々な手法を活用し、より多くの人にナスバを知ってもらうこと、入構したいと思ってもらえるようナスバの魅力を伝えることにも力を入れていきたいと思っています。

－ナスバを目指す人に向けてメッセージをお願いします。

　私自身、就職活動にはとても苦戦しましたが、そんなときにナスバを知りました。
多岐にわたる業務内容と資格取得を踏まえた専門的な知識の習得に難しさを感じることもありますが、周囲の方々が手厚くサポートしてくれる環境があるため、やりがいを感じながら取り組めています。たくさんの方とかかわり、支えられながら仕事ができていて、入構して良かったと思っています。
　大義ある組織の一員として、一緒に働けることを楽しみにしています！

＜自己紹介＞

　休日は好きなアーティストのライブや旅行へ行くことが好きです。東北や関東のほかにも、北海道・石川・大阪・福岡など遠方へも足を運びました。各地の街の雰囲気を感じつつ、ご当地グルメを楽しむことがとっても好きです。
　また、社会人になってから温泉の良さに気づき、旅行先を決めるときには温泉が目的になることも多く、日々の疲れを癒しています。
　今後は海外旅行にも行ってみたいと思っています。

【主管支所】先輩からのメッセージ

総務・経理・アセス業務

広島主管支所　チーフ

２０１５年　入構

－入構の決め手を教えてください。

　学生時代、就職したい業種というものがはっきりなかったので、銀行、製造業、運送会社、市役所、警察等、業界・業種を全く絞らずに就職活動を行いました。
　私がナスバへの入構を決めた理由は、民間企業では担いきれない公共性の高い業務を通じ、「自動車事故」という一つのテーマで社会貢献できる点に大きな魅力を感じたからです。
　また、職場見学を希望した際、快く受け入れてくださった職場の雰囲気が印象的で、「ここでなら使命感を持って働ける」と感じたことからでした。

－業務内容を教えてください。

　現在は、総務・経理業務を中心に、企画・広報業務にも携わっています。総務業務では組織運営を支える制度整備や職員のサポート、経理業務では公的予算を適切に管理するため、ルール遵守を徹底した会計処理を行っています。
　一方、企画・広報業務では、ナスバの取り組みを広く社会に伝えるため、ラジオやテレビでの情報発信や、イベント出展に携わっています。
　これまで適性診断業務や被害者支援業務にも携わってきましたが、ナスバは自動車事故の防止と被害者支援を通じて「自動車事故ゼロの社会。」を目指す、独自性の高い独立行政法人です。その分、社会への貢献度も非常に大きい業務だと感じています。

－職場の雰囲気をどのように感じますか。

　入構して１０年近くになりますが、風通しがよく安心感のある職場だと感じます。
　ジョブローテーションがあり、経験豊富な職員があちこちにいるため、年齢や役職にとらわれず「必要なときに助け合う」雰囲気の法人です。
　困ったときにはすぐに相談でき、意見を出せば受け止めてもらえる環境があるため、安心して業務に取り組むことができています。

－どんな時にやりがいを感じますか。

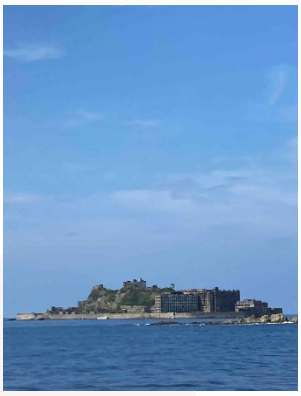
　企画・広報業務の中で、多岐にわたるナスバ業務を説明していると、「これ知ってる！ナスバだったんだ！」と言ってもらえることがあります。他にもこんな業務をやっているんです、具体的にはこんな感じで、と説明して、「知らなかった、パンフレット貰えますか？」、「YouTube見てみますね」と興味をもっていただけた時にやりがいを感じます。
　診断業務や援護業務のように、日々の運転行動や生活に関わっているわけではないですが、直接分かりやすい形でナスバに興味をもって貰えることで、報われた気持ちになれます。

－今後の目標を教えてください。

　総務・経理業務をルールどおり行うことはもちろん、広報業務を通じて、ナスバの魅力をさらに発信することが今の目標です。
　組織全体として安定した運営ができるよう支えていくこと。それによって信頼される組織づくりに携わっていくことができると考えています。
　自信をもって“ナスバ”を広報していくためにも、経験したことのない他の業務も担当し、成長を続けていきたいです。

－ナスバを目指す人に向けてメッセージをお願いします。

　どんな仕事に魅力を感じるか、どんな環境で、どんな人たちと働きたいか、考えると迷いや不安もあると思います。
　ナスバの業務は、意外と身近なところにある、自動車社会に根差した業務です。民間企業ではできない領域で、自分の力を社会のために活かすことができる、そんなところに魅力を感じていただけた方は、是非ご応募ください。
　皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています。

＜自己紹介＞

香川県出身です。
気分次第で旅行したり、散歩したり、海を眺めて日光浴をしています。
最近、気になるキャラクターができたので、ほんのり推し活中です。
（ナスバのマスコットキャラクター“ナスバちゃん”も、もちろん推しています！）